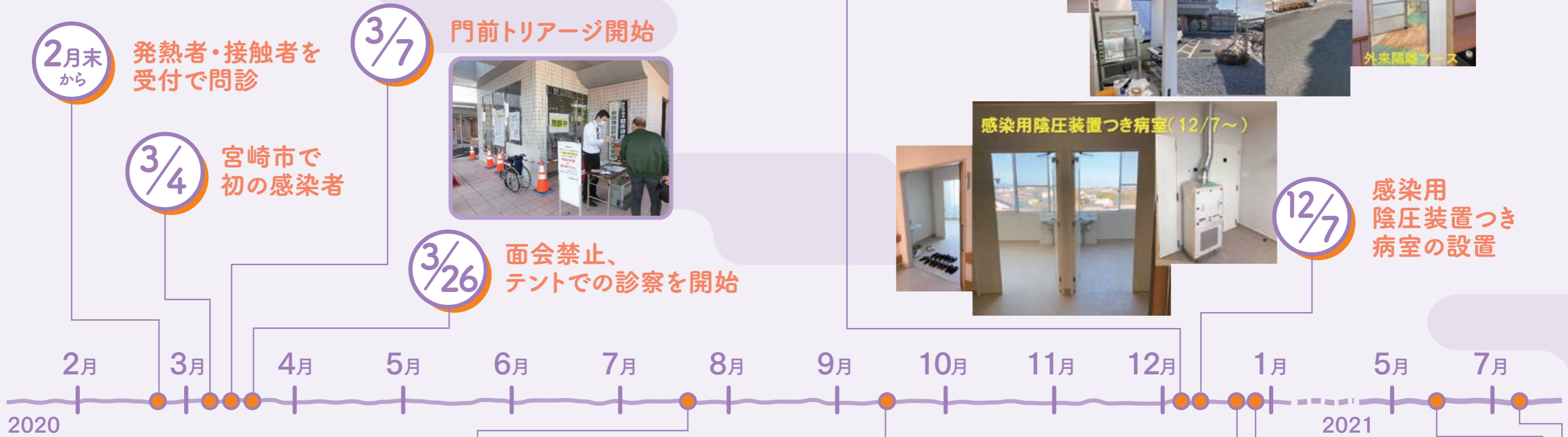


宮崎生協病院の コロナ対策

世の中を大きく変えたコロナウイルス。全国で多くの感染者・死者が出ており、行政や医療機関はその対応に追われる日々を過ごしています。ニュースなどで過酷な医療現場を目にする機会も多くなったと思いますが、ここで宮崎生協病院のコロナ対策の経過をお伝えします。



第1波で問題発生! PPE、特にマスク不足に!

入荷がないことから、医師・看護師・受付は3日に1枚、その他の職種は1週間に1枚の使用制限となりました。

7/22 第2波の対応へ

全職員へフェイスシールドを配布

受付エリアに隔離ブースを設置



第3波に備え施設整備を開始

12/2

発熱者診察用プレハブ建設



12/7

感染用陰圧装置つき病室の設置

12/29

NEAR法(コロナの検査方法)開始

12/30

感染救急室設置など

発熱難民を出さないため、コロナの疑いがある患者さんを診ていこうという方針へ!!

そのような対策の結果と、医療・介護職員全員の感染対策、外食・旅行などの行動制限の結果、クラスターを起こさず対応が出来た。コロナで失われたものもたくさんあるが、コロナをきっかけに慣習を見直すことができたり、今後のリモート活用の必要性を強く感じるようになった。何より全職員が協力して対応していくことが大事だと感じた。

今後の対策としては
ワクチン接種!

宮崎生協病院では職員322名がワクチンの接種を行いました。

5月
から

往診患者・介護施設利用者・透析・HOT患者への接種も開始。

7月
以降

65歳以上のかかりつけ患者接種を開始しました。

現在はコロナに感染した自宅療養の患者さん対応も開始しました。